

令和8年

広野町、はたちを祝う会

令和8年広野町はたちを祝う会が1月11日（日）、広野町公民館で行われ、新たに二十歳を迎えた19人が出席しました。スリッパや振袖に身を包んだ参加者は、友人との再会を喜び、それぞれの目標に向かって気持ちを新たにしました。

式典では、小松町長から佐藤遥香さん（さとうはるか）に成人証書の授与が行われ、小松町長が「震災当時、まだ就学前だった皆さんも震災から14年が経過し立派な大人へと成長されました。新しい時代を切り拓くのは、いつの時代も若者的情熱です。これからも高い志と熱い情熱をもって、皆さんの若い力を存分に発揮し、広く社会で活躍されることを期待しています。」と式辞を述べました。来賓の皆さんから数多くの祝辞が贈られました。出席者を代表し、坂本大星さんと坂本朱羽さんが「はたちの夢」を発表し、小林大希さんが謝辞を述べました。

幼い時に東日本大震災を経験し、学生時代はコロナ禍という困難を乗り越え、立派な大人へと成長され、二十歳を迎えた皆さん、誠におめでとうございます。



成人代表 小林 大希さん

本日、成人の日を迎え、このような晴れやかな式典に出席できることを大変うれしく思います。また、多くの皆様から私たちのためにお祝いと激励の言葉をいただき、新成人一同心から感謝申し上げます。

私たちは今日、社会人としての第一歩を踏み出しました。これまでの人生を振り返ります。

り返つてみると楽しいことばかりではなく、悩みや迷いを抱えた日々もありました。それでもここまで成長できたのは家族、先生方、友人、そして地域の皆様はじめ、多くの方々の支えがあったからこそだと感じています。

本日、成人としての節目を迎え、私たちは社会人としての自覚と責任を改めて胸に刻みました。これからは、自由には責任が伴い、一つ一つの行動が社会に影響を与えることを忘れずに自らが考え、判断し、行動する力を身に付け、失敗を恐れずに挑戦し続けたいと思います。

私たち新成人は、それぞれ異なる道を歩み始めますが、互いを思いやる心と感謝の気持ちを忘れず、未来に向かって力強く歩んでいくことをここに誓います。結びに、本日まで私たちを育て、見守ってくださったすべての皆様に、改めて深く感謝申し上げますとともに、今後もご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、代表謝辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

